

平成23年度 第2回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成23年8月25日(木) 18:30~20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 13名…根本、河村、浅羽、柏崎、酒井、澤田、鈴木、永島、早川、古田、前川、吉田、渡辺
事務局 2名…市民生活課 山口、堀井
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者 0名

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

[意見概要]

1-(1) 利用状況・利用者の声について

(指定管理者)

前回の運営委員会で利用状況等の数値だけでは、利用率等が適切かどうか判断しにくいという指摘があった。より分かりやすい形で資料をつくりたいと思っている。今回はこの1年間の利用者数の推移と、その前年度比、他都市との比較のデータを抽出した。

利用者数推移は4、5月は総会などで利用者が多く、夏は少なくなるのが例年の傾向であるが、震災後は今までの傾向とは異なりアップダウンが激しくなっている。

利用者の声から、印刷機の音がうるさいという意見があった。印刷機の騒音については以前から改善してほしいという声があるので、印刷機の設置場所の変更を含めて、現在対策を検討している。

(委員)

数字には必ず裏付けがある。今回は、数字の羅列だけでなく資料と説明を受けて理解が深まった。

(委員)

ビデオ編集機の撤去について説明してほしい。

(指定管理者)

サポートセンターには、ビデオテープからDVDにダビングするための編集機とビデオカセットレコーダー、ライオンズクラブから寄贈されたDVDレコーダーがある。DVDレコーダーは故障して、修理をするか検討していたが需要がなく、お金をかけて修理する必要はないという結論に達した。他の編集機もこの2年間利用者がいなかったため撤去することにした。処分に当たっては、情報広場などで周知を行なったが、これにも利用者からの反応はない。最近は画像処理もすべてデジタルで編集する人が増えてきて、アナログ派は少なくなっている。

(委員)

キッズコーナー周辺の掃除機の音に関する利用者の声(6月)から、清掃を行っているのは作業所の方だということだが、利用者からのクレームに対応できるのか。

(指定管理者)

可能であるが、今回はスタッフから利用者に声掛けをするなど、清掃員に負担のない方法で対応したいと考えている。

(委員)

表示もあった方がよい。

1-(2) 夏の市民活動体験中間報告

(指定管理者)

今年は若者に参加してほしいという点に力を入れている。県立保健福祉大学などへの学校向けのPRを行ったり、参加団体に対しても事前に若者向けの企画をお願いしたりした。

他都市でも、夏に市民活動体験を行っているところが多いので、サポートセンター職員を派遣している。藤沢市では期間は1日だが数団体が会議室にブースを出展して高校生を招待している。鎌倉市では1つの学校全体を請け負ってボランティア先のコーディネートを行っている。

サポートセンター利用者も高齢化が進んでいるので、若い人にも積極的に使ってほしい。今後も若者

を呼び込む取り組みを続ける。

(委員)

P-1 グランプリは、今年初めてということだが、面白い取り組みである。

(指定管理者)

現在、活動紹介コーナーに掲示しているので、帰りに投票してほしい。永遠の課題である「知ってもらおう」ということを積極的に取り組んでいきたい。

(委員)

夏の市民活動体験に、関東学院大学の女子生徒がボランティアに参加してくれた。

(指定管理者)

関東学院大学のボランティアサークルに職員が出向き、夏の市民活動体験やサポートセンターのPRを行った。今までは県立大学が中心だったが、少しずつ対象を広げている。

(委員)

ボランティア活動は、高校生くらいから参加するのが理想である。しかし彼らは、どこへ行けばボランティアができるか知らないのが、基本的に待ちの姿勢である。学校の指導方針でボランティアへの参加機会が大きく変わってしまう。

(指定管理者)

サポートセンターは県のボランティアエアポートの指定を受けている。年に一度6月頃に、各高校の先生方との懇談会がある。高校への取り組みを始めて5年になるが、ようやく顔が繋がるようになってきた。高校の文化祭に昨年は2校、今年は1校出張して、サポートセンターのPRを行っている。追浜高校では出張授業を行った。少しずつ増やしていく努力をしている。

(委員)

先生は2年位で異動してしまうし、先生によって温度差がある。遠慮しないで積極的にあきらめず、アタックすることが大事である。

(委員)

防犯パトロール活動を行っているが、祭りや学校のパトロールに小中学生が参加することがある。災害ボランティアバスには、高校生の参加もあったが、小中学生は保護者の参加がある場合に認めている。経験させてやりたい親心とやってみたいという子どもの気持ちが合った場合には、子どもでもボランティアは可能ではないか。ここ2、3年でボランティア活動参加者層の変化が見られる。ただし、一番心配なのは保険の問題である。

(委員)

小中学校の総合学習の中にボランティア参加の芽がある。社会参加して「ありがとう」と感謝される嬉しさや楽しさを覚えさせることは大切である。

1-(3)団体交流会の開催について

(指定管理者)

年に3、4回登録団体が集まって交流をもっている。テーマを設けて話し合ったり、講師を呼んだりしている。9月に計画しているが、まだ企画が絞り切れていないので、今回の報告は見送りたい。

1-(4)のたろんフェア 2012について

(指定管理者)

内容は資料のとおり。委員長は西條さん、副委員長は石原さんに決まった。

1-(5)作業所フェアについて

(指定管理者)

のたろんフェアに参加した障害者福祉団体から声上がり、試みとして取り組むことになった。ここに集う様々な団体を結びつけネットワークを作るのが、サポートセンターの役目である。

(委員)

サポートセンターの裾野を広げ、のたろんフェアに参加していこうという意味で「こたろん」というネーミングになった。売上金は被災地の作業所支援ネットワークに寄付する。

(委員)

今回、障害者団体でこうした取り組みを行なうが、子育てやまちづくりなど他のグループからも声が上がってきたら、どうするのか。

(指定管理者)

サポートセンターが団体間のコーディネートやサポートを行っていききたい。

(委員)

似たような事をやっている団体はライバルではなく、仲間という意識を持って連携することが必要である。

(委員)

予算は怎么样了のか。

(指定管理者)

予算はなく、ほとんど持ち出しである。この企画案が出てきた際に、関係者にはサポートセンターのスタッフや予算を割くことはできないと伝えたいので、実施に向けて話し合いを行った。

(委員)

主催として行うならば、活動の実績としてサポートセンターから予算をつけてはどうか。

(委員)

特にお金を出さなくても、あるもので出来るのであればそれでやってみてもよいのでは。

(指定管理者)

初めての試みなので、一度やってみてから検討したい。

2 審議事項

指定管理者から前回の運営委員会以降の新規登録団体の説明があり、新規12団体が承認された。

[意見概要]

2-(1) 市民公益活動団体について

(委員)

登録団体に対して補助金は出ているのか。

(指定管理者)

サポートセンターで補助金は出していない。団体が登録する理由として、公益性が認められると利用予約ができたり、館外貸出備品が利用できたりするメリットがあるから。

(委員)

ママトモラボの活動内容が分かりにくい。

(指定管理者)

コミュニティセンターを中心に、近隣の子ども達を対象にしたイベントや情報交換などを通して、子育て支援を行っている。

(委員)

公益性とは何か。地区が限定されていても公益があるといえるのか。

(指定管理者)

今までの施設運営の経緯の中で、自治会やPTAも市民公益活動団体と認めている。また、取りまとめの団体も今までの経緯で公益性を認めている。判断が難しい部分がある。

3 その他

[意見概要]

3-(1) ハッピーバースデーについて

(指定管理者)

YMCAコミュニティサポートとして、来年度横須賀市で行政などと連携しながら児童虐待に関する朗読劇を開催する。

3-(2) 意見交換会について

(市民生活課)

引き続き、定期的に意見交換会を行っていく。日程が決まったら連絡をする。

その他

(委員)

運営委員会の役割が分らない。設置要綱に何を審議し、何を決めるのか記載してほしい。事業計画についても、ただ報告を受けるだけで終わっている。

(委員)

以前は、私もそう感じており意見したこともあったが、私が感じていたのは年に4回だけの話し合いでサポートセンターの運営が分るのか、という意味だった。そこで意見交換会を開催することによって少しずつ、運営委員会の位置づけが分かるようになった。要するに、運営委員はサポートセンターの運営に対するご意見番の役割だと理解している。

(市民生活課)

市民協働事業全体の計画等については、条例に基いた審議会という機関があり、その答申に基づいて実施している。○委員がおっしゃられた通り、運営委員会はサポートセンターの具体的な運営方法について利用者が利用しやすいように議論し、市や指定管理者が勝手な運営をしないようにお目付け役として設置している。これは、全国的にも珍しい仕組みとなっている。

したがってレイアウトの変更や施設の使い方などに大きな変化があるときには審議が行われるが、何もない時には特に審議事項はないかもしれない。

以上